

SHOW HEY シネマルーム



Data

監督: ルイ・ルテリエ
出演: サム・ワーシントン / ジェマ・アータートン / マッツ・ミケルセン / アレクサ・ダヴァロス / ジェイソン・フレミング / レイフ・ファインズ / リーアム・ニーソン / ダニール・ヒューストン / ヴィンセント・リーガン / ポリー・ウォーカー / ピート・ポスルスウェイト / ニコラス・ホルト / ハンス・マシソン

👁️👁️ みどころ

旧約聖書の『ノア方舟』や『バベルの塔』では神をも恐れなくなった人間が一方向的に悪いが、ギリシャ神話の時代は？

神に反旗を翻し戦いを挑んだ、ゼウスの子「半神半人間」ペルセウスの物語は、意外に人間的な神サマが多く面白い。さまざまな化け物クリーチャーにも注目だが、神と人間が対立する中での権力闘争の姿と、父と子の絆を描く人間的ストーリーとして読み解いた方が、きっと有益だ。

* * * * *

ペルセウスってダレ？どんな役割を？

日本人でもタイタンやポセイドンの名前は知っているし、ゼウスの神の名前も知っているはず。また、星座の名前になっているカシオペアやアンドロメダの名前も知っているはず。しかし、ペルセウスという名前をあなたは知っている？

ギリシャ神話に登場するポセイドンは海の神。また、オリンポスの神々を支配しているゼウスは神々の王だ。それに対して、カシオペア（ポリー・ウォーカー）はアルゴス国の現国王ケフェウス（ヴィンセント・リーガン）の妻で、アンドロメダ（アレクサ・ダヴァロス）はその一人娘だから、これらはいずれも人間。つまり本作の時代設定は、神々と人間が共存していた時代というわけだ。しかし、ペルセウスとは一体誰？

ギリシャ神話では本来ペルセウスはアルゴスの国王アクリシオスの娘ダナエとゼウスとの間に生まれた子とされている。本作の主人公となるペルセウスは、神々の王ゼウス（リーアム・ニーソン）がアルゴス国の前王妃ダナエと姦通した結果生まれた、半神半人間の子だ。『アバター』（09年）で一躍時の人となったオーストラリア出身の俳優サム・ワ

ーシントンが演ずるそんなペルセウスは、本作では一体どんな役割を？

複雑な権力闘争の様相も一目瞭然

今ゼウスが神々の王となっているのは、親の世代だったタイタン族を兄弟で力を合わせて滅ぼしたため。その後ゼウスは人間を創造し、人間から神として崇められることによって神々の王としての支配権を確立していたが、次第に力をつけてきた人間は今や神々に疑問を抱き、反旗を翻すまでに。人間たちが増長した結果、神が怒ってこれに鉄槌を下すというお話は旧約聖書の『ノアの方舟』や『バベルの塔』にも登場するから、あの時代の神サマは意外と人間的？

今、傲慢で自分の欲望を満たすためには何でもありの神々に対して人間が不満を持ち、反旗を翻すようになっていたが、他方、愛によって人間を支配していたゼウスも今や人間を懲らしめなければならないと思うようになっていた。ゼウスが人間との和解を主張する12神のアドバイスを排し、人間を懲らしめるべきだという方針を決定したのは、ゼウスの兄で今は冥界の神となっているハデス（レイフ・ファインズ）の意見に従ったため。ゼウスの方針がそう決定したことによって、ハデスは意気揚々と戦いの表舞台に登場してきたが、さてその胸中は？

本作はまず冒頭のナレーションによってタイタン族の滅亡とゼウスの支配権を説明したうえで、神と人間との対立や神々の内部の対立を要領よく説明してくれる。したがってワケのわからない民主党内の権力闘争(?)に比して、こちらの権力闘争の様相は一目瞭然。

出生の秘密を知ったペルセウスの選択は？

「生みの親より育ての親」とよく言われるが、赤ん坊の時から愛情いっぱいペルセウスを育てたのは、漁師のスピロス（ピート・ポスルスウェイト）とその妻のマルマラ。その時代から人間の神々に対する怒りは渦巻いていたが、ペルセウスが成人に達した今は神と人間との対立は決定的に。そんなとぼっちりに巻き込まれる中でスピロスの船は海中に沈み、ペルセウスは育ての親と妹を同時に失ってしまったわけだ。人間を守るのが神ではなかったの？そんな疑問を持ち神への怒りに震えるペルセウスに対して、ペルセウス出生の秘密を明らかにしたのは運命の守護神イオ（ジェマ・アータートン）だ。

他方、かねてより人間の力を誇示していたアルゴスの国王ケフェウスとその妻カシオペアの前に登場したのが、ゼウスの意向を受けたハデス。圧倒的な神サマパワーの前には人間の力なんて屁みたいなものだから、海の魔物にして無限大の大きさを誇るクラークンを放つことによってアルゴス国を滅ぼすか、それとも王女アンドロメダを生贄に差し出すかの選択を迫られた国王は？また、アルゴスの民は？民の選択が生贄説に傾いたのは当然だが、ペルセウスがゼウスの子であると知った国王はペルセウスの力に期待して神との対決を選択。さて、ペルセウスは育ての親の敵を討つため、ホントに実の親であるゼウスや神

の世界と対決するのだろうか？

今日本のリーダーに要求されている大切な資質は「ブレないこと」だが、ペルセウスにはその資質が十分。なぜなら、あくまで人間として立ち上がり、神と対決しようとするその姿が全くブレないのは、ある意味感動的だから。

ハリウッド的クリーチャーの数々を、どう評価？

『ロード・オブ・ザ・リング』シリーズにもたくさんのハリウッド的クリーチャーが登場したが、ギリシャ神話を土台とした本作にもハリウッド的クリーチャーの数々が。

ペルセウスがアンドロメダ護衛隊のキャプテンであるドラコ（マッツ・ミケルセン）やその部下の戦士エウセビオス（ニコラス・ホルト）、イクサス（ハンス・マシソン）たちと共に向かったのは、地獄山。それは、クラーケンの退治法を、人間を食らうというグライアイの3魔女から聞いたためだ。その行く手を遮ったのは、まずハデスから巨大なパワーを授けられた醜い魔物カリボス（ジェイソン・フレミング）。これはアルゴスの前国王アクリシウスの変身した姿だ。次いで、巨大なスコープイオンの群れ。戦士たちとスコープイオンとの対決は結構迫力があるから見モノだが、その後もひとつの眼を共有するグライアイの3魔女や見た物を石に変えるメデューサなどのバケモノ（？）が次々と。天を駆ける馬ベガサスや、ラストにその全貌を見せる海の底に閉じ込められている巨大な魔物クラーケンを含めて、これらのいかにもハリウッド的クリーチャーをあなたはどう評価？

本作はギリシャ神話だからと割り切って私はそれなりにこれらのクリーチャーを堪能したが、そうでなければいくらカネをかけて造っても、いかに削減この手のクリーチャーにはウンザリ？

やっぱり父と子？ゼウスは意外と人間的？

冷戦時代の米ソ対立はいかにも決定的で、いつ核戦争が起きてもおかしくないような情勢だったが、結果的にそれを避けることができたのはやはり人間の英知？ちなみに、今でこそアメリカの資本主義が正しくてソ連の社会主義はまちが이었다とされているが、本作が描くギリシャ神話の時代は、人間を造ったゼウスたち神が横暴だったの？それとも神を恐れなくなった人間が横暴だったの？そこらあたりの判断は難しいところだ。

ゼウスだって兄のハデスを騙したことはまちがいないし、ハデスの助言を受けて人間を懲らしめるという方針決定をしたのだから、ゼウスを神々の王として絶賛するのはいかなもの。つまり、あの時代の神は、神といっても誤りを犯す人間的な存在だったわけだ。本作にはそんなゼウスの意外と人間的な面が随所に表れる。その第1はペルセウスに聖剣を授けるところ、第2はベガサスをさし向けるところだろう。そして第3は、ペルセウスがクラーケンをやっつけ、アンドロメダを救出した後にペルセウスの前に姿を見せるゼウスがみせる何とも粋な配慮だ。あくまで人間として戦うと宣言していたペルセウスだった

が、ある時点からは聖剣やペガサスを使うことになったのは当然。すると、そんな中自然に父と子の心の交流が芽生えたの？

本作はタイトルどおり「タイタンの戦い」だから、戦士たちとバケモノたちとの戦いがメイン。したがって女性の登場は少ないが、その中ではペルセウスの守護神イオの登場が一番多い。そのイオはメデューサとの戦いに勝利したペルセウスを迎えた後、カリボスによってあえなく殺されてしまうのだが、ゼウスが最後にみせた何とも人間的な配慮とは？ やっぱりゼウスとペルセウスは父と子？そしてゼウスは意外と人間的？これなら、今後の神と人間はしばらくは良好な関係を続けることができるのでは？

2010(平成22)年5月6日記

大阪万博のクリーチャーは、世界遺産に？

『タイタンの戦い』には多くのクリーチャーが登場したが、大阪には1970年の大阪万博の際に故岡本太郎氏が作った「太陽の塔」という世界に誇るクリーチャー(?)がある。それから40年。2010年10月31日に開幕した上海万博は目標の入場者数7000万人を超えて7300万人余となり、大阪万博の6421万8770人を大きく上回った。しかし、すさまじいスピードで激変する上海では、40年後に上海万博が誇るクリーチャーが残っているだろうか？

右の写真は、10月24日に開催されたオービックの運動会の際、太陽の塔の前で塔と同じポーズをとる私の写真。そんな中、「太陽の塔」が、「千里ニュータウン」、「万博記念公園」と共に三点セットで世界遺産登録を目指すことが10月25日の産経新聞夕刊で報じられた。「登録待ち」の暫定リストが国内で既に14件あるため実

現は難しそうだが、千里ニュータウンは東京の田園調布とともに、文化庁から「計画的に作られた都市の文化的景観」としてお墨付きを得ているため、吹田市は三点セットを新しいタイプの「文化遺産」として位置づけるらしい。「何かおもしろいやんか」という大阪的なノリで活動を進めたい。夢はでっかい方が・・・。

2010(平成22)年11月2日記

